

かしま HOT 通信

9月号 Vol.296

平成29年(2017年)9月1日発行

■編集/かしま病院広報委員会
 ■発行/社団法人養生会
 〒971-8143
 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
 tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...
 上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
 かしま病院広報委員会(井沢 寛)まで
 k-izawa@kashima.jp

ホームページ <http://www.kashima.jp>

携帯サイト <http://www.kashima.jp/m/>



かしま病院

検索

インターネット閲覧機能搭載の携帯電話から、
 クリニックかしまの診療科情報をご覧いただけます。

- 1 特集① 「高校生一日看護体験」を開催しました
- 2 特集② 平成29年度ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業
 「地域医療体験セミナー」を開催しました

- 3 糖尿病のおはなし
 糖尿病教室のお知らせ
 かしま糖尿病サポートチーム
- コラム ひんがら目(123)
 『キティちゃんの弁当袋』
 呼吸器科 部長 山根 喜男

- 4 ようこそ家庭医療へ!
 リハビリPOST
 イベント開催予定のお知らせ
 かしま荘通信

平成29年度 リハビリファミリー教室 開催のお知らせ

今年もファミリー教室を開催することとなりました。ファミリー教室とはリハビリテーションの知識や技術を講義と実技をふまえながら皆さんと一緒に楽しく学んでいく場です。興味をもっていただけましたらぜひご参加ください。

～介護用品、福祉用具について～

日時 2017年 10月 15日(日) 9:00～12:00

会場 かしま病院内 理学療法室

対象 当院にてリハビリを行っている患者様とご家族様
※上記対象外の方はリハビリテーション科までご相談ください。

参加費 無料 (事前申し込みにご協力ください。)

プログラム ※福祉用具展示・相談会も行います

- 講義** 「リハビリテーション総論」 講師:安斎 勝行 (かしま病院 副院長)
- 実技演習** 「安心、安全グッドライフ!」「知っとう 楽しい食事 これひとつ」 講師:高橋 亮太 (理学療法士)
- 講義** 「介護保険を利用した福祉用具レンタル・購入、住宅改修」 講師:木村 和美 (介護居宅支援事業所)



平成27-28年度のファミリー教室の様子

巻頭特集

- ① 「高校生一日看護体験」を開催しました
- ② 平成29年度ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業
 「地域医療体験セミナー」を開催しました



福 島県看護協会では、看護に興味ある高校生を対象に「高校生一日看護体験」を開催しています。かしま病院では、7月27日、8月3日の2回開催されて、合計20名の参加がありました。参加者には、憧れの白衣に着替えてもらい、様々な体験をしてもらいました。

午前中の看護体験では、患者さんとお話をしたり、看護ケア(足浴、ベッドメーカーキング等)を看護師とともに行いました。患者さんに笑顔が見られ、みんな看護の楽しさを感じ



特集①

「高校生一日看護体験」を開催しました

今回は、3年生の参加が多く、進路も決まり、看護師の仕事を知りたいという熱意を強く感じました。懇談会では、みんな積極的に専門的な質問もあり、意欲的でキラキラとした眼差しをしていました。この体験を通して看護への関心を高め、看護職への進路選択の気持ちをより強めた様子でした。

みなさん、素敵な看護師になっていただけたらと思います。

午後は、感染管理認定看護師による手洗い実習や防護服の装着を体験し、自分や患者さんを守る大切さを学んでもらいました。いつも通りの手洗いでは不十分で、どこを意識して洗わなくてはならないのかということを考え、実践するよい機会となりました。みんな真剣な表情でメモをとっていました。

(看護部 石塚ひろみ)

特集②

平成29年度ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業 「地域医療体験セミナー」を開催しました

平 成29年8月4日(金)
9:00~5:00に、かしま病院コミュニケーションホールで当法人の職員が「平成29年度ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業「地域医療体験セミナー」を行いました。この事業は、福島県教育委員会が主催となり、医師及び看護師を始めとした医療従事者を進路希望とする福島県内高等学校112校の高校1年生840名程度を募集し、県内6地区(県北地区、県中地区、県南地区、会津・南会津地区、いわき地区、相双地区)の各医療機関において地域医療の現場に触

れる機会を設け、各職種の仕事内容の理解と地域医療に貢献する使命感の涵養を図る事業です。

当日、かしま病院には医師や看護師、薬剤師、リハビリテーション、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師を目指した志の高い高校1年生27名が参加し、午前中は職種の現場体験で、午後は当法人職員との交流タイムで真剣に情報収集をしている姿に驚かされました。セミナーをサポートした現場スタッフからは次のようなコメントを頂きました。



現場スタッフのコメント

医

師志望者10名を受け入れ、午前中は研修医になりきって実技体験してもらった。(血圧、体温測定から注射、気管内挿管、内視鏡シミュレーションなど)その後、家庭医の役割について講義を受けました。

10名の印象は、時間厳守で礼儀正しく、実技も仲間との譲り合いをしながら積極性が見られた。患者さん目線ではなく、医療者として現場感覚を実感してもらい、多職種との連携あって患者さんを診療していく過程を学んでもらったと思う。今回の体験で、より「医療の道を突き進む」決意を固めてもらえたら本望である。

(医師)

感

染管理認定看護師による手洗い実習や防護服の装着を体験し、自分や患者さまを守ることの大切さ学び、高齢者体験装具を身につけた疑似体験をし、どのような看護が必要なのか考えてもらった。今後、看護師の仲間が増えることを楽しみにしている。

(看護師)

大

学薬学部の学生実習は受入れられているが、高校1年生の医療体験ということでどのような事を行ったらよいか悩みながらの受入れとなった。実際は講義・見学という形ではなく、模擬ではあるが内服薬調剤・注射薬調剤・注射薬混合調剤など病院薬剤師業務を実験してもらった。今回の経験が有意義な体験となり、薬剤師を志望してくれればと思っている。

(薬剤師)

入

院中・退院後のリハビリの説明・施設見学をした後、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の体験してもらった。障害者の疑似体験や調理訓練を見学し、失語症の方とも触れ合い、自分達の想像と違ったり意外なことが多かったようだ。また、出来ない事が出来るようになる事を目の当たりにし驚きと喜びを感じていた。地域で活躍してくれるリハビリスタッフが増えてくれればいい。

(リハビリテーション)

検

査科全体の仕事内容・患者さまとの関わり・チーム医療における検査技師の役割などを説明し、実際に検査を体験してもらった。想像していた検査技師の仕事とは違った面もあったようだが、質問も多く聞かれ興味を持ってもらえた。礼儀正しく真剣な姿勢と行動力に感心した。

(臨床検査技師)

今

回女子高校生1名が体験に参加した。病院内での臨床工学技士の役割と業務についての難しい話にも積極的に質問し、人工呼吸器や胃カメラ、電気メスなど医療機器の体験を行った。最後のグループディスカッションで臨床工学技士を目指す女子高生から「一つの事に対し、それぞれの専門的知識を持つ医療スタッフが別の視点から意見を出しあうことが大事ということが分かった。」という言葉が出た時、チーム医療の大切さが伝えられたととても嬉しく感じた。

(臨床工学技士)

今

回は診療部担当として医師希望学生10名にシミュレータを使用した医療体験を行った。心臓マッサーン(BLS)、気管内挿管、人工呼吸器体験、内視鏡、バイタル測定など様々な体験してもらった。みんな真剣に目を輝かせて体験していたことにも感心し感動した。同時に今の学生の医療に対する意識の高さにとっても驚き感銘を受けた。今後もその意識と気持ちを大事に学習し、いい医療人としてこの福島に、いわきに帰ってきてくれることを期待したい。

(臨床工学技士)

今

回の対象は高校1年生だったが、中学生から高校生になったばかりなのに具体的に将来の進路が決まっている人が多くとても感心した。質疑応答でも具体的な質問が多く、興味を持ってもらえていることが伝わってきて大変うれしく感じた。高校生になって早い段階でこのような機会があるとより具体的に自分の将来を想像しやすくなるし、勉学への気持ちも変わってくるので継続してほしい。

(診療放射線技師)



糖尿病のおはなし

かしま糖尿病サポートチーム

かしま病院糖尿病サポートチームでは月に1回糖尿病教室を行っています。内容は薬・食事・運動等様々なことについて医師や看護師などのスタッフがわかりやすくお伝えしております。今回は6月におこなった糖尿病教室の内容についてご紹介いたします。

テーマは「クイズで知ろう！糖尿病のお薬」で、一般的に行われる聴講型の勉強会ではなく、参加型のクイズ形式でお薬についての注意点や豆知識などを回答していただきました。

また練習用のインスリン注射を使い、どのようにして注射を打つか・どこに打てばいいのかをスタッフの説明を聞き、実際に一連の流れを確認しながら注射の手技を模擬体験してもらいました。

教室で行ったクイズ問題

1 血糖を下げるインスリンですが、インスリンは体のどの臓器から分泌されるでしょう？

1、脳 2、腎臓 3、脾臓 4、肝臓

2 食後の血糖値の上昇を防ぐために食事の直前に服用するα-グルコシダーゼ阻害薬ですが、食事の直前に服用するのを忘れ、食べ終わってから3時間後に気づいた場合の適切な対処法は次のうちどれでしょう？

1、食後であっても気付いたときに服用する
2、忘れた分は服用しない
3、次の食事の時に2回服用する

3 次のうち、低血糖症状でないものはどれでしょう？

1、空腹感 2、残尿感 3、めまい 4、冷や汗

【答え ①→3 ②→2 ③→2】

かしま糖尿病サポートチーム 薬剤部 若松 実加子



2017年度

糖尿病教室のお知らせ

当院では、みなさまが糖尿病とうまくお付き合いし楽しく生活できるように、「糖尿病サポートチーム」のスタッフがお手伝いをさせていただいております。血糖値について理解を深め、生活習慣を見直すきっかけにはいかがでしょうか？

日常のちょっとした工夫と心がけで、糖尿病をお持ちの方でも充実した生活が送れます。

●糖尿病が気になる方

●ご家族の健康に不安をお持ちの方

●血糖値が下がらない方

どなたでも自由に参加できますので、お気軽にお越しください。

場所 クリニックかしま会議室

日時 毎月第1火曜日 10:00~10:30

今後の予定

9月5日(火)「痛みがある時の運動療法」
～理学療法士と考えてみませんか？～

10月3日(火)「糖尿病あんなことこんなこと」

11月7日(火) 世界糖尿病デーイベント開催予定



キティちゃんの弁当袋

昨年、脊柱管狭窄症で体調を崩してから、食の嗜好に幅がなくなって来ました。揚げ物や野菜物のちょっとした味の違いに堪えられなくなり、無理に食べると気分が悪くなるので、職員食堂の昼食は半分くらい残すようになりました。

体重が減ってきたため、それを心配した妻が弁当を作ってくれるようになりました。海苔に巻かれて真っ黒になったおむすびは、保温用にアルミで内張りされた三角形のおにぎりケースに収まりません。ケースの図柄はニッコリマークです。

ひんがら目(123)



愚生は長男ですが、姉が三人、妹が一人いました。つまり、女の中の男一人、四番目です。戦後の貧しい時代でしたから、絵の具箱と、習字箱は、姉たちのお下がりでした。どちらにも花柄の模様が描かれていました。女物であることが明らかです。男児たるものが女々しい物を持ち歩いていることが恥ずかしかったです。どちらの箱も、表面は絵柄ですが裏面は無地でした。絵柄の面を体にピッタリ着けて、友達に見られないようにしました。図工と習字が同時にある日には、ランドセルを背負って、右手と左手に、絵の具箱と習字箱を持ち、絵柄を体に密着させて隠しました。

女物であることの恥ずかしさだけではなく、女物のお下がりを持たされているという貧困の露見が嫌で、前夜から憂鬱でした。図工と習字が不得手なのはこんな劣等感が関係しているかも知れません。

当時、紙芝居のおじさんが街を巡回していました。子どもたちは水飴などを買い、それを舐めながら「黄金パット」などの紙芝居を見せてもらいました。小遣いを持っていない愚生は水飴を買うことが出来ず、夕夕見をしていました。これも寂しいものでした。紙芝居のおじさんに叱られないかと心配で、ストーリーに没入できず、怖れ怖れ遠くから眺めていました。

今でこそ、かわいらしい弁当袋をぶら下げていても平気ですが、小学生の頃にはかわいらしいということがとても嫌でした。恥ずかしかったのです。給食のない時代で毎日弁当を持参していました。弁当包みは男物のハンカチで問題なかったのですが、図工のある日と、習字のある日は憂鬱でした。

男女の区別がいまいになり、髪型も、服装も、持ち物も、男女兼用になったため、お下がりかどうかとも判然としなくなった現代の子どもたちには、昭和30年代の悩みには無縁でしょう。苦い思い出でした。

(呼吸器科 部長 山根 喜男)



ようこそ 家庭医療へ!

～いわきに生きる家庭医療への挑戦～

第91回 家庭医が提供する地域リハビリテーション



診療部 石井 敦

皆さんは、地域リハビリテーションという概念をご存知ですか? 地域リハビリテーションとは、1999年に介護保険制度の安定的運用と市町村支援の目的に開始された国の推進事業で「障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合っている活動のすべて」と定義されています。実は、かしま病院は、浜通り唯一の地域リハビリテーション広域支援センターに指定されていて以下の支援業務を行っています。

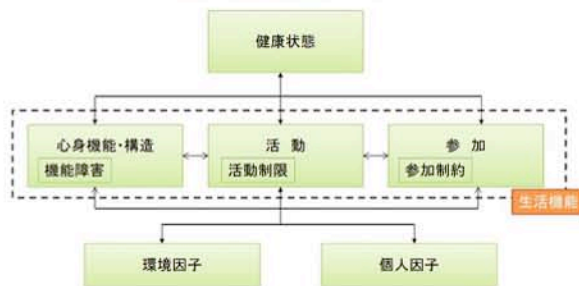
- 1) 介護保険施設等のリハビリテーション実施機関等の従事者に対する支援
- 2) 福祉用具選定や住宅改修に係る相談への対応等
- 3) その他、地域リハビリテーションの推進に必要な業務

しかしながら、これほど重要な役割を担いながらも、実は当院には常勤のリハビリテーション専門医が不在です。驚かれる方も多かろうと思いますが、これは全国的な傾向であり、殊に医師不足が社会問題になっている当地ではやむを得ないことかもしれません。

さて、事実を嘆いていても仕方ないので、リハビリの非専門医がなんとかしてリーダーシップを発揮していかなければなりません。そこで、リハビリテーションで用いられる国際生活機能分類(ICF: International Classification of Functioning,

Disability and Health) という評価方法を紐解いてみました。この分類を用いると、人間の生活機能と障害について健康状態、心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子という6つの構成要素からなり、多角的視点で患者さんを理解することができます。しかも、このツールは家庭医が常に追究している患者中心の医療の方法との共通点がとても多く、家庭医はもっともっと積極的にリハビリテーションに関わっていくべきなのでは? と思いました。多職種的能力を最大限に引き出せるように、ぐいぐいリーダーシップを発揮し、家庭医ならではの質の高い患者中心のリハビリテーションを提供していきたいものです。

国際生活機能分類 (ICF)



かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第78回

福祉用具の貸与・購入について

福祉用具ってなあに? 皆さんは、福祉用具と言えばどのような物を想像しますか。今では100円ショップで買える福祉用具もあるんですよ。今月号と来月号とでは、福祉用具の貸与・購入のあれこれについてご紹介したいと思います。

福祉用具とは、障害者の生活・学習・就労と、高齢者、傷病者の生活や介護、介助の支援のための用具・機器のことです。

福祉用具には、介護保険を利用して貸与や購入ができるものがあります。厚生労働省では、「福祉用具は、要介護者等の日常生活の便宜を図るための用具及び要介護者等の機能訓練のための用具で、利用者がその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう助けるものについて保険給付の対象としている」とされています。福祉用具の貸与と購入の対象種目は、表に示しました。肌に触れ

る福祉用具は介護保険を利用して購入となります。詳しくは、担当のケアマネージャーや相談員にご相談下さい。

私達リハビリスタッフは、患者様の体の状態や環境によってその方にあった福祉用具を選定します。福祉用具は、患者様の残された力を十分に発揮し、出来ない事を出来るようにお手伝いをしてくれます。その為、患者様の負担を減らしてくれるだけではなく、介護者側の負担を減らしてくれるのも利点となっています。次回は、実際に患者様が利用している福祉用具についてご紹介したいと思います。

作業療法士 村山 綾子

福祉用具貸与

- ・車椅子 ・特殊寝台(介護用ベット) ・床ずれ防止用具 ・体位交換品
- ・手すり ・スロープ ・歩行器 ・歩行補助具(杖、シルバーカー等)
- ・認知症老人徘徊感知機器 ・移動用リフト

特定福祉用具販売(購入)

- ・ポータブルトイレ ・移動用リフト ・入浴補助具 ・特殊尿器
- ・簡易浴槽 ・リフト吊り具

※表にしたものは一部のもので、他にも色々あります

かしま荘通信

誕生会

8/23(水)



8月は10名の利用者様が誕生日を迎えられ、施設長よりお祝いの言葉と花束が贈られました。毎年8月は、鹿島町の金光寺ご住職様の法話を頂いており、今回は、「四つの門」というお釈迦様が修行に出るまでのお話を紙芝居で、また、月の満ち欠けの名前と信仰についてお話下さいました。

イベント開催予定のお知らせ

糖尿病教室

- 日時 毎月第1火曜日 10:00~10:30
会場 クリニックかしま会議室
- ・9月5日(火)『痛みがある時の運動療法』
～理学療法士と考えてみませんか?～
 - ・10月3日(火)『糖尿病あんなこと
こんなこと』
 - ・11月7日(火) 世界糖尿病デー
イベント開催予定

ゆる体操教室

- 時間 1回目 13:30~14:30
2回目 15:00~16:00
会場 クリニックかしま会議室
- ・9月 9日(土)
 - ・10月 28日(土)

乳がん患者のつどい アイリスの会

- 日時 毎月第3水曜日 14:00~15:30
会場 かしま病院コミュニティーホール
- ・9月 20日(水)
 - ・10月 18日(水)
 - ・11月 15日(水)

家庭医療セミナー～実践家庭医塾～

- 時間 19:00~20:00
会場 かしま病院コミュニティーホール
- ・9月 14日(木)

興味のある方は、お問い合わせください。